

第4章 将来目標の設定

4-1 将来都市像の設定

将来都市像は、都市整備上の課題、社会情勢、市民意向調査結果などを踏まえ、第5次綾部市総合計画と整合したものとします。

【都市整備上の課題】

(1) 少子高齢化社会への対応を踏まえ、地域の特性に応じた暮らしやすい環境の充実

- ・人口の減少に歯止めをかけることが求められています。
- ・市街化区域内の未利用地などを活用して、良好な住宅地や事業用地を供給することが求められています。
- ・中心市街地の再生が求められています。
- ・地域の特性に応じた暮らしやすいまちづくりの推進が必要になっています。

(2) 市街地の複合的な都市機能と農村集落の日常生活支援機能の充実

- ・中心市街地では、空き地や空き家の問題、人口減少の問題なども発生し、市街地の活性化を図るため、効率的、効果的な土地利用と、複合的な都市機能の充実が必要になっています。
- ・市街地と交通の要衝を結ぶ幹線道路沿道の有効な土地活用は、地域の活性化や市民の利便性の向上に効果的な手段の一つと考えられます。
- ・農村集落は、人口減少や高齢化が進み、生活圏内に日常生活上の諸機能を配置することが望まれています。

(3) 産業の基盤強化による誘致・振興及び雇用の確保

- ・良好な交通アクセスを活かした産業活動の拠点都市として更に発展する可能性があります。
- ・産業の基盤を強化して工業、商業の振興と雇用の確保が必要になっています。
- ・農林業の活性化を図ることが必要になっています。

(4) 都市施設の充実による利便性の向上

- ・公共交通網や幹線道路網の充実が重要になっています。
- ・都市計画道路網の見直しや整備が必要になっています。
- ・都市施設の整備が必要になっています。

(5) 豊かな自然環境の保全と活用

- ・自然環境・景観を保全し、豊かな自然環境を活かした地域づくりが求められます。

(6) 自然災害や都市災害に備えた安全な都市環境の確保

- ・自然災害・火災・各種事故への安全対策を進め、安全な都市環境を確保することが必要になっています。

【第5次綾部市総合計画】

《将来都市像》

**住んでよかった・・・
ゆったりやすらぎの
田園都市・綾部**

《施策の大綱》

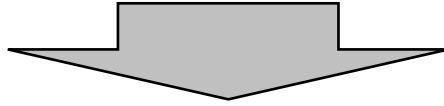
- (1) 市民が輝き共に築くまちづくり
- (2) 心豊かな人と文化を育むまちづくり
- (3) 支えあい安心して暮らせるまちづくり
- (4) 豊かさにとぎわいを生み出すまちづくり
- (5) 自然豊かで安全なまちづくり
- (6) 快適で誰もが住みよいまちづくり

【社会情勢】

- 1) 人口減少と少子高齢化の進行
- 2) 過疎化の進行と地域活力の低下
- 3) 経済・雇用環境の変化
- 4) 情報化の進展
- 5) 環境問題の顕在化

【市民意向調査結果】

- 居住している地域の現状について、「現状のままでもよい」は約38%で、「現状のままでは不満」が約48%を占めています。
- 居住している地域の環境の中で満足（プラス点）としている項目は、自然環境、農業環境・田園風景、人とのつながり、伝統文化・歴史、住宅地の環境などの8項目です。
- 居住している地域の環境の中で不満足（マイナス点）としている項目は、まちの活気や活力、高校や大学への通学、公園や広場、文化・スポーツ施設の利用、道路・交通などの12項目です。
- 居住している地域に「現在の場所に、住み続けたい」は約73%を占め、その率は市街化区域と比べ、市街化調整区域や都市計画区域外が低くなっています。



綾部市都市計画マスタープランは、第5次綾部市総合計画に即して都市計画の基本的な方針を定めるものです。このことから、本市が目指す将来都市像は第5次綾部市総合計画が定める「将来都市像」と同じ、

『住んでよかった… ゆったりやすらぎの 田園都市・綾部』

とし、この将来都市像を実現するため、都市計画の視点から都市づくりの基本目標、土地利用方針及び分野別整備方針を定めるものとします。

【将来都市像（案）】

住んでよかった…

ゆったりやすらぎの田園都市・綾部

第5次綾部市総合計画では、

「第5次綾部市総合計画の将来都市像『住んでよかった・・・ゆったりやすらぎの田園都市・綾部』の実現を図っていくため、特に重点的に取り組む課題を次のように設定し、効果的な施策の推進に努めます。」

1. 少子高齢化への対応
2. 産業振興による雇用確保
3. 次代を担う人材の確保
4. 農村集落の活性化と街なかの再生
5. 市民生活における安全・安心の確保

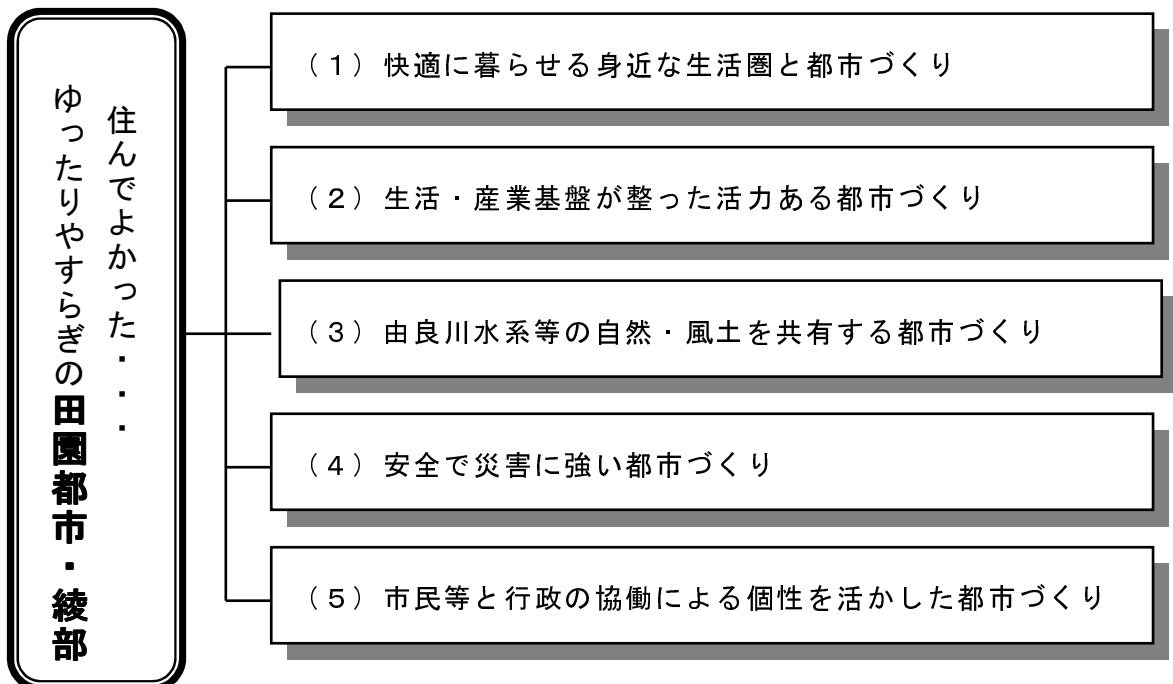
と定めています。

このことを踏まえ、都市計画マスタープランでは、市街地や集落など地域の特性に応じて誰もが快適に暮らせる都市環境の形成と、産業基盤を充実し産業の活性化を持続的に進めることを目指します。あわせて、豊かな自然の保全と活用とともに、自然災害や事故などに対する安全性を向上させ、これらの都市づくりを市民等と行政の協働により進めることを目指します。

将来都市像を実現するための“都市づくりの基本目標”を、次のとおり設定します。

【将来都市像】

【都市づくりの基本目標】



(1) 快適に暮らせる身近な生活圏と都市づくり

地域の特性に応じた適切な土地利用の誘導規制を図り、安全、安心、快適な暮らしに対応できる住環境の形成を目指します。

また、中心市街地では再生に向けた取り組みや、街なか居住を促進し、さらに、ユニバーサルデザインの導入などにより、高齢者や障害のある人を含めて誰もが安心して、快適に暮らせる都市づくりを目指します。

(2) 生活・産業基盤が整った活力ある都市づくり

子どもから高齢者までの誰もが健やかに暮らせる住環境や医療・福祉環境を充実するとともに、道路、公園、上水道、下水道などの都市施設の整備、充実及び適切な管理により利便性、快適性の維持・向上を目指します。

また、地域の特性を踏まえ、地域住民の生活環境が確保され、地域コミュニティの活力が持続的に発揮できるまちづくりを目指します。

良好な交通アクセスを活かし、産業活動の拠点都市として、新たな企業誘致や既存産業の基盤強化など、商工業の活性化による活力ある都市空間づくりと雇用の確保を目指します。また、農林業基盤の整備、農林業経営の活性化、担い手の育成、地域資源を活かした特産品・ブランド商品の開発や六次産業化の推進などにより、雇用の確保を目指します。

(3) 由良川水系等の自然・風土を共有する都市づくり

由良川、犀川、八田川、上林川、伊佐津川沿いの豊かな自然環境、資源、景観を保全します。

また、これらと調和した水源の里集落や里山集落などの個性を活かし、魅力ある集落づくりによる地域振興と活性化を目指します。

(4) 安全で災害に強い都市づくり

住宅、主要公共建築物などの不燃化、耐震化の促進と、自然災害に対応できる治山・治水・土砂災害対策の充実を目指します。

また、災害対策本部や救助活動の拠点となる建築物の耐震化や機能強化、避難路、避難地の確保により災害に強い都市づくりを目指します。

(5) 市民等と行政の協働による個性を活かした都市づくり

本市が育んできた文化や風土を共有して人と人との絆を大切に育てるとともに、市民や事業者などが都市づくりに参画できる機会を増やし、都市づくりの多様な場において市民等と行政の協働による都市づくりを目指します。

本市の将来人口の推計値と人口減少の対応策を勘案し、将来目標人口の設定に関する基本的な考え方を整理し、将来目標人口を設定します。

(1) 将来目標人口の設定

1) 目標設定に関する基本的な考え方

【人口推移】

- ・昭和25年国勢調査時の54,055人をピークに、その後は減少が続き、平成17年は37,755人、平成22年は35,836人となりました。
- ・出生死亡による自然動態、転入転出による社会動態ともに減少しています。
- ・自然動態は少子高齢化の進行によるもので、出生の減少、死亡の増加はさらに続くものと見込まれます。
- ・社会動態は、平成10年度から17年度まで微増、微減を繰り返していましたが、平成18年度以降は減少が続いています。社会動態は、既存企業の活性化や企業誘致による就業者数の増加、また、良質な住宅地の提供による定住化の促進などにより、減少を改善することが可能と考えられます。

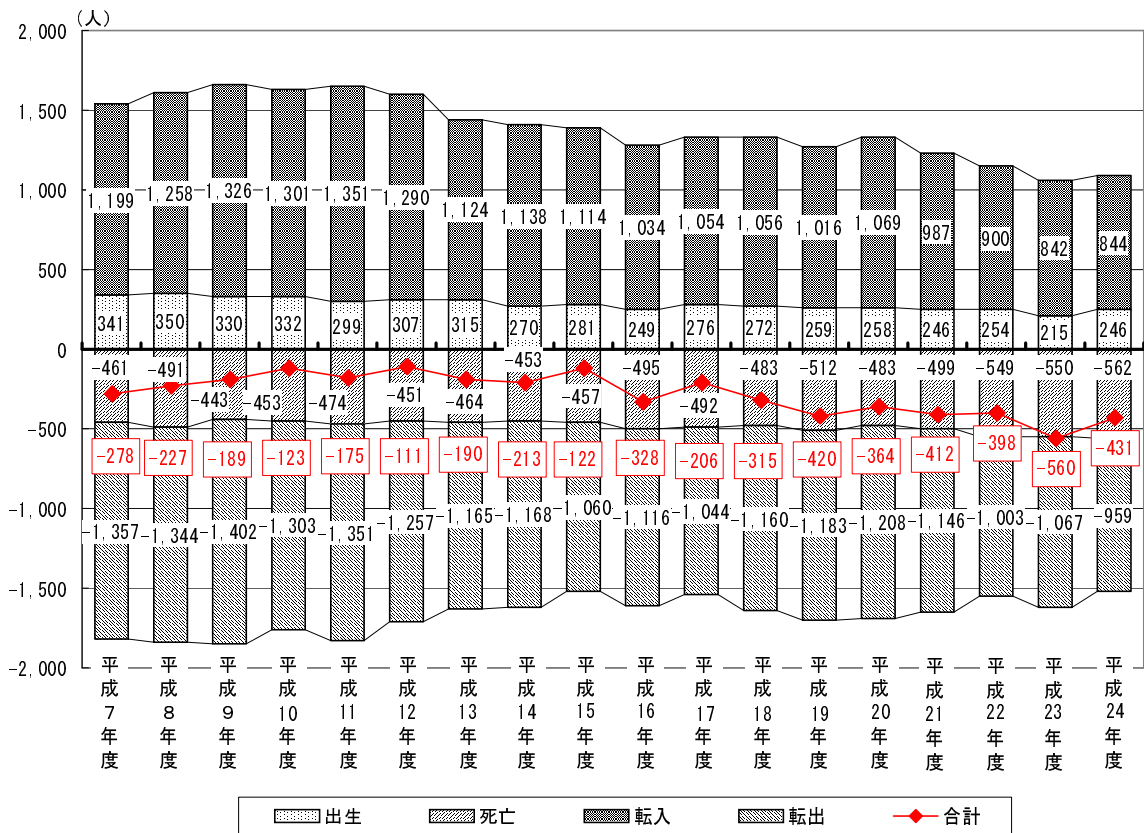


図4-1 綾部市の自然動態・社会動態の推移（資料：市民・国保課）

表 4 - 1 本市人口の推移（実績）

区分	昭和 22年	25年	30年	35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成 2年	7年	12年	17年	22年
人口(人)	54,005	54,055	53,235	51,258	48,339	44,983	43,490	42,552	41,903	40,595	39,981	38,881	37,755	35,836
指数	100.0	100.1	98.6	94.9	89.5	83.3	80.5	78.8	77.6	75.2	74.0	72.0	69.9	66.4

資料：国勢調査

指数は昭和22年=100としたもの

【上位計画における将来人口】

《第5次綾部市総合計画が定める将来人口》

我が国の総人口が減少傾向にある中、人口の増加を見込むことは難しくなっています。今後も少子高齢化の進行による自然減と人口流出による転出超過とが今の状況で推移すると、総合計画の目標年次32（2020）年には33,000人程度になると推計されます。

このため、人口減少と少子高齢化の進行を前提として、将来的にも持続可能なまちづくりの手立てを考えることが重要となります。一方、活力あるまちを維持・形成していくため、子育て支援、若者支援、産業・雇用の創出、農村交流、定住支援など、人口の定着と流入、交流の促進に向けた取組を進めることにより、推計値を上回る人口の確保を目指します。

資料：「第5次綾部市総合計画」抜粋

【将来目標人口設定の基本的な考え方】

第5次綾部市総合計画が定める推計人口を基本とし、各推計人口を参考にして、平成34年の目標人口を以下のとおり検討します。

- ・少子高齢化が進行する中、自然動態は引き続き減少することが予想されますが、社会動態は、就業場所の拡充や良好な住宅地の供給、利便性の高い交通手段の充実、農村部や山村部の定住環境の向上などにより、転入の増加と転出の減少を図り、減少を改善することを目指します。
- ・社会動態の改善に伴う出生の増加を期待し、自然動態の減少の改善を目指します。

2) 将来目標人口の設定

- 平成34年の将来目標人口は、国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口を参考に、既存企業の活性化や企業誘致による従業者数の保持及び増加、定住化の促進による社会動態（転入、転出）の改善などを勘案し設定します。

【将来目標人口の参考値】

- 国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口の、封鎖人口（参考値）は平成32年が33,755人、平成37年が32,145人です。
- 将来推計人口（公表値）は、平成32年が32,654人、平成37年が30,714人で、社会減少は、平成32年が1,101人、平成37年が1,431人と見込まれています。
- これまでの自然動態、社会動態（平成12年～23年の推計人口）により、3つの推計式で算出した将来人口は、平成32年がおおむね33,000人、平成37年がおおむね31,000人と推計されます。

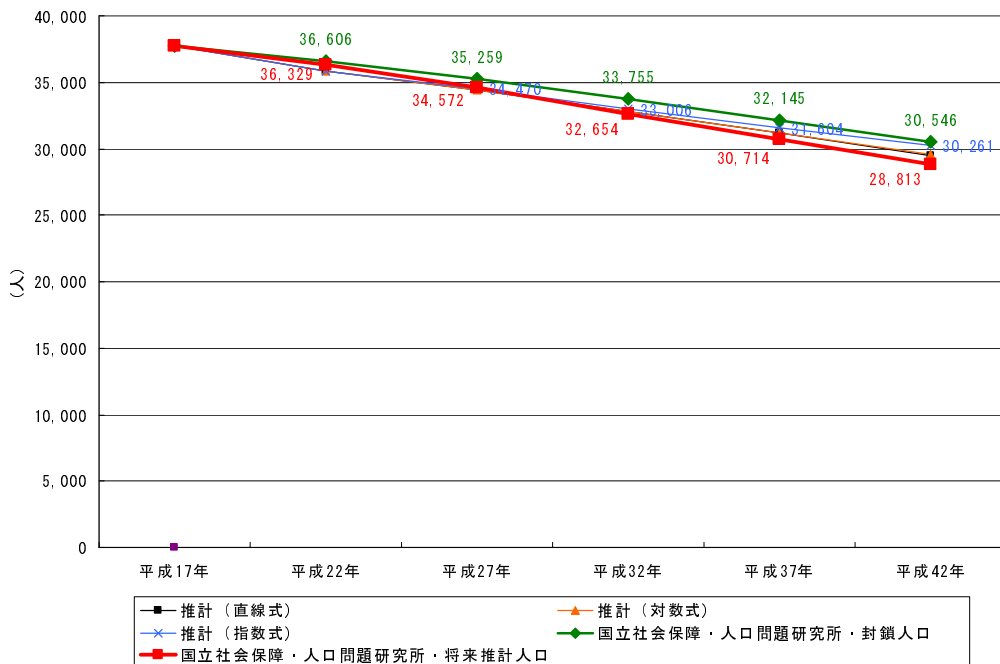


図4-2 国立社会保障・人口問題研究所などによる将来人口推計結果

表4-2 国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計（平成20年12月推計）

区分	実数（人）		推計人口（人）										
	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成22年 2010年		平成27年 2015年		平成32年 2020年		平成37年 2025年		平成42年 2030年		
	国勢調査	国勢調査	封鎖人口 (参考値)	将来推計人口 (公表値)	封鎖人口 (参考値)	将来推計人口 (公表値)	封鎖人口 (参考値)	将来推計人口 (公表値)	封鎖人口 (参考値)	将来推計人口 (公表値)	封鎖人口 (参考値)	将来推計人口 (公表値)	
年齢階層別人口	0～14歳	4,918	4,489	4,526	3,986	3,926	3,649	3,434	3,302	3,031	3,012	2,719	
	15～64歳	21,230		20,180	19,879	18,726	18,066	17,714	16,734	17,058	15,722	16,511	14,764
	65歳～	11,492		11,937	11,924	12,549	12,579	12,393	12,487	11,785	11,962	11,021	11,330
	計	37,755	35,836	36,606	36,329	35,259	34,572	33,755	32,654	32,145	30,714	30,546	28,813

表 4 - 3 綾部市の実績（平成 1 2 年～ 2 3 年）に基づく推計人口（単位：人）

区分	実績		推計結果				
	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年	平成42年 2030年	重相関 係数
直線式	37,755	35,836	34,377	32,759	31,141	29,524	0.9859
対数式			34,383	32,775	31,172	29,572	0.9858
指数式			34,470	33,006	31,604	30,261	0.9840

- ・平成 3 4 年は、推計年（平成 3 2 年）の 2 年後となるため、国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口を参考に、封鎖人口（参考値）は 3 3, 1 1 1 人（おおむね 3 3, 0 0 0 人）、と想定します。
- ・また、社会減少を加味した将来推計人口は 3 1, 8 7 8 人（おおむね 3 2, 0 0 0 人）と想定します。

【将来目標人口の設定】

- ・都市計画マスタープランは、産業活動の拠点都市として、新たな企業誘致や既存産業の基盤強化など、商工業の活性化による雇用の確保や、地域特性に応じた土地利用の誘導、住環境の向上などにより定住化を促進します。
- ・これにより、国立社会保障・人口問題研究所が推計している将来推計人口数（社会動態を加味した人口数）を上回ることを目指し、封鎖人口ベースの推計人口数を目標とします。
- ・平成 3 4 年の将来目標人口を、おおむね 3 3, 0 0 0 人と設定します。

平成 3 4 年の将来目標人口 おおむね 3 3, 0 0 0 人

【用語説明】

- ・封鎖人口：出生と死亡のみを考慮して推計した人口
（国立社会保障・人口問題研究所の参考推計データ）。
- ・将来推計人口：封鎖人口に転入と転出を考慮して推計した将来推計人口
（国立社会保障・人口問題研究所の公表値）

(1) 第5次綾部市総合計画における「土地利用の基本方向」

平成23年3月策定の第5次綾部市総合計画では、土地利用の基本方向を、市街地地域、里山・田園地域、自然環境地域の3地域に区分しています。

区 分	土地利用の基本方向
① 市街地地域	市街化が進展し機能的な都市環境が形成されるべき地域で、住居機能や商工業等の業務機能、公共機能などが集中して誘導、整備され、文化、経済などの中心となる地域
② 里山・田園地域	田園都市を構成する重要な地域として、里山や田園、水辺、緑地など、農林業を通じそこに暮らす人々とのかかわりが深い自然を有する地域
③ 自然環境地域	美しく清らかな自然環境に恵まれた森林、原野、河川などの区域で貴重な自然が残り、その保全が最優先されるべき地域

(2) 将来都市構造

将来都市構造は、都市機能の集積を目指す「拠点」、道路を中心に都市活動を支える「都市連携軸」、市街地などの土地利用の集団的な空間の形成を目指す「エリア」により構成し、以下のとおり設定します。

1) 拠点の整備方向

①都市拠点

JR綾部駅、市役所、綾部市立病院周辺を「都市拠点」に位置づけ、商業・業務、文化、医療、福祉、行政、交通結節などの都市機能の集積を促進し、多様で高度なニーズに対応する都市サービスを提供する複合的な都市機能の充実を図ります。

②工業・物流拠点

京都府綾部工業団地、綾部市工業団地を「工業・物流拠点」に位置づけ、主要産業となる工業、物流などの振興を図るとともに、既存企業との交流促進や、新たな企業誘致などにより、地域経済の活性化と就業場所の拡充を図ります。

③文化交流拠点

京都府中丹文化会館、綾部市資料館、綾部市天文館などが集積する久田山付近を「文化交流拠点」に位置づけ、多彩な文化・芸術に触れ親しむ環境づくりを図ります。

また、水源の里事業及び里山事業の拠点となる、老富会館や里山交流研修センターについても、豊かな自然を活かし、都市住民との交流の場として位置づけます。

④観光・スポーツ交流拠点

本市における自然や伝統的文化を活かした観光地となっているあやべ温泉、二王公園、黒谷和紙会館、グンゼ記念館・博物館、綾部バラ園、宗教法人大本、ふれあい牧場や、スポーツ・レクリエーションの中心となっている綾部市総合運動公園などを「観光・スポーツ交流拠点」に位置づけ、既存施設や情報発信機能の充実、拠点間の連携を促進するとともに、これらの観光資源を基に創意工夫した地域観光の開発に努め、良好な交通アクセスを活かした観光・スポーツ交流を図ります。

2) 都市連携軸の形成方向

①広域連携軸

舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道、国道27号、173号、JR山陰本線及びJR舞鶴線を「広域連携軸」に位置づけ、行政区域を越えた広域的な交通・物流・交流に資する動線軸の形成を図ります。

②地域連携軸

福知山市や舞鶴市など隣接する市町との連絡や、市内各地区間を連絡する主要地方道を「地域連携軸」に位置づけ、市民の日常生活における利便性、アクセス性の向上を目指し、地域間の交通・交流に資する動線軸の形成を図ります。

3) エリアの整備方向

①市街地エリア

一定の人口・都市機能が集積する区域を、「市街地エリア」に位置づけ、居住、商業・業務、工業、教育、文化、医療、福祉、行政など、機能的な都市環境が形成されるべき地域として、都市機能のさらなる強化と、計画的な都市施設整備を図ります。

②里山田園生活エリア

市街地エリアを除く、里山、田園に囲まれ自然環境の優れた集落地や農地などの区域を、「里山田園生活エリア」に位置づけ、豊かな自然や、農業との調和を図りつつ、集落地の生活基盤の向上を図り、地域産業の活性化や都市住民との交流を図ります。

③自然活用保全エリア

豊かな自然と里山風景をつくりだす森林、原野、河川などの区域を、「自然活用保

全エリア」に位置づけ、美しく清らかな自然環境に恵まれ、その保全が優先されるべき地域として景観に配慮し、森林の保全や林業の振興、自然環境を活かしたレクリエーションの場として活用を図ります。

